

## 第 2 回 行財政改革官民協働委員会議事概要

日 時	平成 2 5 年 5 月 2 3 日 (木) 9 : 3 0 ~ 1 1 : 4 5
会 場	本庁舎 3 階 大会議室
出席者	佐藤委員 (委員長)、小田委員 (副委員長)、萩野委員、山本 (寛) 委員、山本 (守) 委員、伊藤委員、磯部委員、河原委員、後藤委員、市橋委員、清水委員、金子委員、尾瀨委員
議 題	①行政改革推進委員会答申に対する対応策への意見取りまとめ ②アウトソーシング推進計画の業務提案の意見とりまとめ ③職員数の状況について ④その他
議事概要	<p>①行政改革推進委員会答申に対する対応策への意見取りまとめ (資料No.1) を事務局より資料に基づき説明。 《委員からの意見等》 資料項目ごとに意見をいただいた。</p> <p><b>【 2 - 3 補助事業の見直しの項目 】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐渡市の HP は、観光に来る方の目線で年間のスケジュールや佐渡の食材の情報等をすぐ見れるようにするなど工夫した方がよいのではないか。</li> <li>・ 観光客は他の地域に観光に行くより、経費をかけてくるのだから、それなりの見せ方などの仕組みをつくらなければいけない。</li> <li>・ 各種イベントの開催情報を集約して HP 等に掲載するシステムを作るべき。また、動画配信も取り入れると更に良いのではないか。各種イベントを行う方への間接的な意味での補助金の一つと考えるべき。</li> <li>・ 観光案内看板が少ないのではないか。増やしていくべき。</li> <li>・ バスについては、生活面と観光面で分けるべきなのではないか。</li> </ul> <p><b>【 7 - 2 外郭団体等の見直しの項目 】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の観光地などで工夫をしている良い旅館などの成功事例は見習うべき。</li> </ul> <p><b>【 8 - 2 支所等出先機関の統廃合による機能の充実 】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会教育部門の地区教育係に関する業務を市長部局で補助執行(事務委任)するという方向で検討している。現在公民館の運営について、公民館運営審議会に聞いている状況である。今年度中には結論が出る予定。</li> </ul> <p><b>【 1 2 - 2 広聴機能の充実 】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ タウンミーティングは広く市民の方を対象としており、ミニ対話集会は特定の団体を対象としているという部分があった。今年はタウンミーティングを 1 0 地区で行っていく方向性で検討している。</li> </ul>

- ・タウンミーティングとミニ対話集会の目的を含め検討すると変更したい。
- ・各種イベント情報の掲載や動画の配信など、新鮮な佐渡市 HP の運営を行うべき。

②アウトソーシング推進計画の業務提案の意見とりまとめ

(資料No.2) を事務局より資料に基づき説明。

**【委員からの意見】**

- ・ごみ処理施設維持管理事業について、現在クリーンセンターの運營業務（維持管理）の長期包括契約を検討中である。
- ・空き家対策事業の所管は明確ではないが、「空き家紹介」は地域振興課で行っている。行政だと安心感があるが、民間事業者がやると不信感が出るという部分もあるかもしれないが、仲介をするだけと聞いており、可能なのではないか。
- ・広報紙作製業務は、行政の秘情報などは慎重を要する部分は注意が必要である。

委託に出せるものと出せないものがあると思うが、出来るものが大部分あるのではないか。外部の取材などは、委託できる業務と思う。民間が行う部分と行政が行う部分を切り分ければ可能ではないか。

- ・フィルムコミッション事業については非常に成果が出ている事業であり、委託に出せるのではないか。入ってきてからの対応等は分担を行っていくべきではないかと思う。
- ・学校管理業務については、草刈りを子ども達や職員の方にやってもらっても良いのではないか。また、集落や地域の人達でも行うことが可能なのではないか。
- ・市道の草刈りは市が行うべき管理業務であると思うが、委託できる部分については検討願いたい。
- ・目標年次をあげていくのがよいのではないか。それで実際に目標年次に出来なくても問題はないのではないか。業者等には検討の材料になる。

**【アウトソーシングで島外資本を取り入れるべきか】**

- ・島内業者が受けられれば一番良いが、現状では期待できないため、島外資本を取り入れて行うのも良いのではないか。それによって周りも目覚めるということもあるのではないか。
- ・実際に島外資本となると、以前よりアウトソーシング専門業者2社程度から佐渡市に話があるが、その場合個々の業務で利益は出しにくいいため、包括した業務として委託することを希望している。その場合、雇用は島外からではなく、島内の人材で行いたいとしており、支店等の設置も検討すると聞いている。

	<p>③職員数の現状について  (資料No.3)を事務局より資料に基づき説明。資料については、公表していない数字のため、取り扱いに注意してもらいたい。</p> <p>④その他 特になし</p>
<p>次回検討  事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回は7月中旬開催予定であるが、現在参議院議員選挙が入ることもあり、日程調整については、別途案内とすることとしたい。</li> <li>・公共施設の現状の説明(予定)</li> <li>・アウトソーシング推進計画変更(案)の説明(予定)</li> </ul>